

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	33-4

機
秘

A.S. 792

2
100

CINC
JA Item # 16237

九九式二十糎固定機銃四型

彈帶式給彈装置

取扱説明書(案)

4267

昭和18年9月1日

海軍航空技術廠支隊射撃部

国立公文書館	
分類	
配架番号	
	33-4

WDC # 53950

め
く
れ
ず

軍
機
秘

A.S. 792

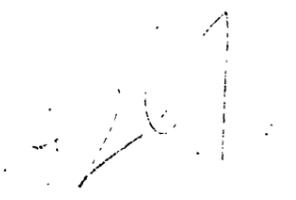
2
100

CINC
10237

九九式二十糎固定機銃四型

彈帶式給彈装置

取扱説明書(案)



昭和8年9月1日

海軍航空技術廠実験部

国立公文書館	
分類	
配架番号	
	33-4

53850

め
く
れ
ず

九九式二十糎固定機銃四型
彈帶式給彈裝置
取扱説明書(案)

第一節 概 説

本銃ハ九九式二十糎固定機銃(彈倉式)ヲ給
彈器裝備トシテ改造セルモノナルヲ以テ本書
ハ給彈裝置關係及改造セル部分ニ就キ説明シ
其ノ他ハ九九式二十糎固定機銃取扱説明書ニ
依ルモノトス

鼓狀彈倉(60發、100發)ニテ少數ノ携
行彈數ニ限定セラレシヲ廢シ給彈器(彈帶
式)ヲ裝備セルヲ以テ携行彈數ハ數倍ニ増加
スルモ彈倉式ニ比較シ下記利害得失ヲ有ス

一 利 點

- (1) 機銃ハ正置裝備ニ付打殼放出狀況ハ良好
ナルコト(彈倉式ハ横置裝備ト云フ)
- (2) 薄翼飛行機ニ裝備スルモ翼面ニ「フクラ
ミ」ヲ要セヌコト
- (3) 携行彈數數倍ニ増加可能ナルコト
- (4) 待機中ト雖モ飛行機ニ裝彈シ置クモ裝填
ヲ行ハズ 離陸後裝填ヲ行フ 故ニ待機

中危険ナク尙推進バネヲ戻メルコトナシ
④發射後彈藥包ノ換裝容易ナルコト
⑤彈倉ハ長期全彈裝備スル時バネノ張力弱
リ之ガ調整等必要ナルモ其ノ手數ナク裕
納法モ簡單ナリ

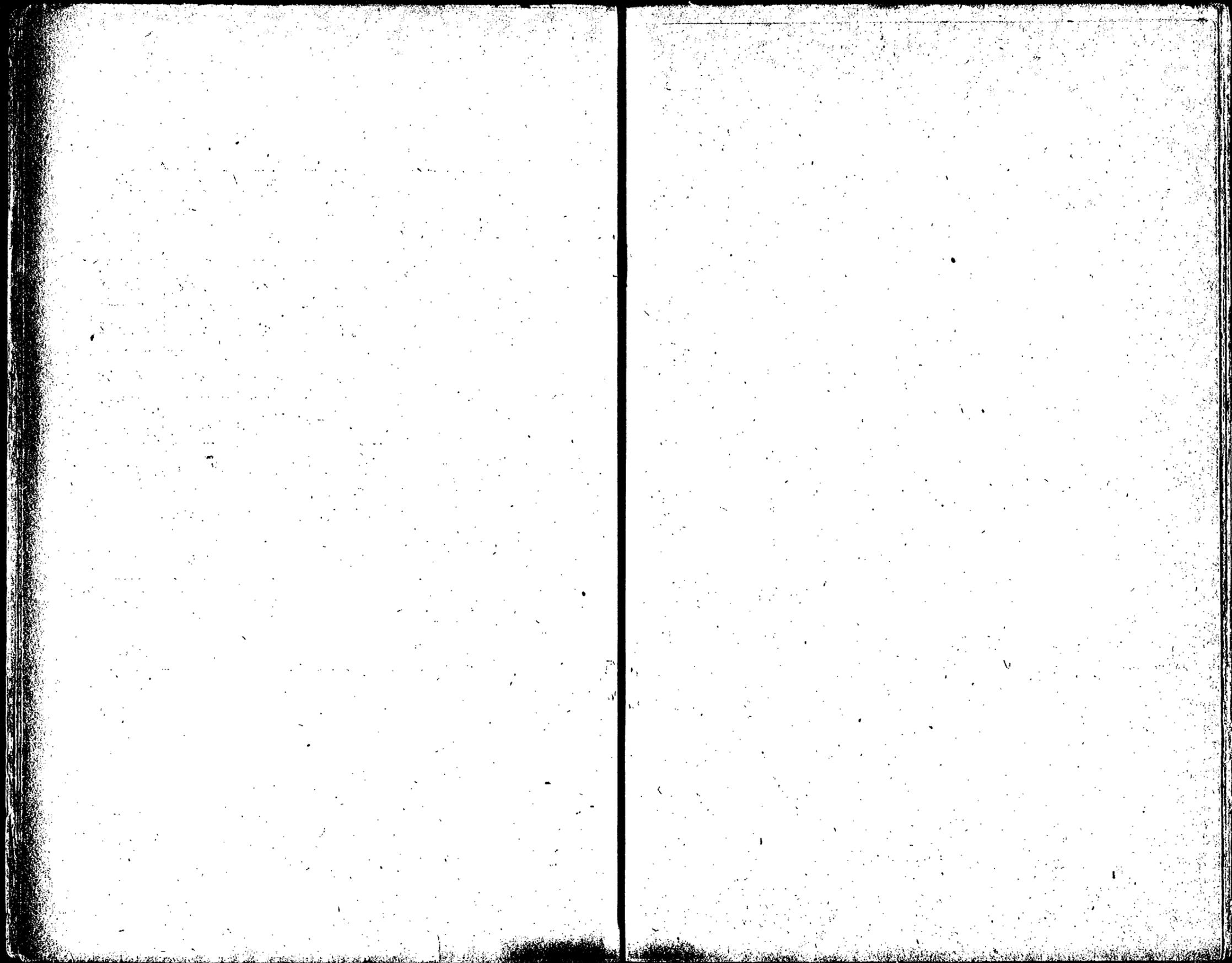
ニ 缺 點

- (1) 強制給彈ニ非ラズシテ退却板ノ前進ニテ
裝彈シ後退ニ給彈ヲ行フ 故ニ前進、後
退ノ運動ヲ害ス
- (2) 機銃自体ノ故障ノ外給彈器及裝彈子等故
障ノ原因トナル箇所大ナリ
- (3) 裝備竝ニ取扱不注意ニ依リ生起スル故障
大ナリ

以上ナルヲ以テ特ニ取扱整備ニ際シ充分ナル
注意ヲ要ス

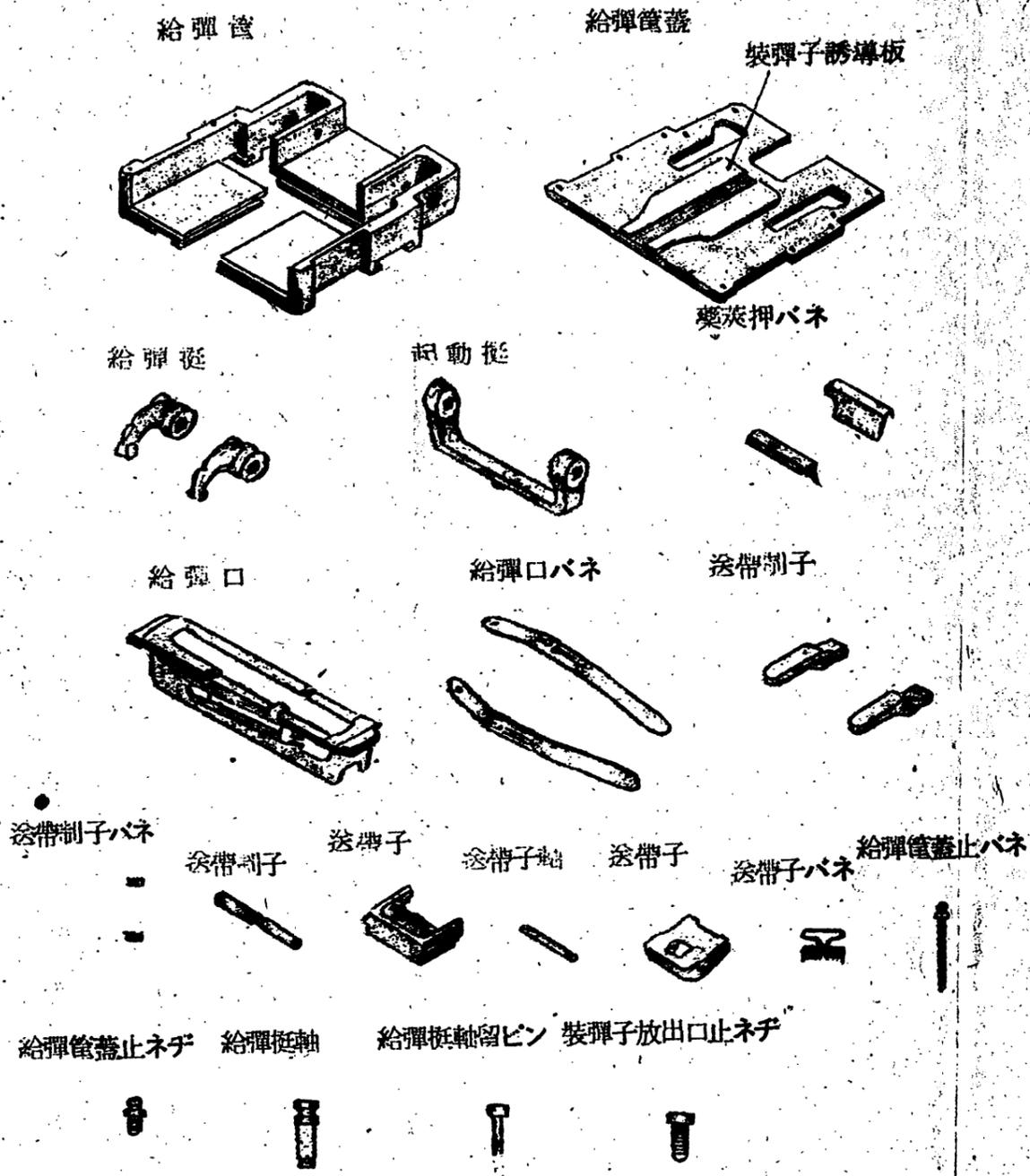
第二節 照 目

項 目	一 號		二 號	
	二 型	四 型	三 型	四 型
給彈器全重量 (斤)		3788		4015
退却板全重量 (斤)	3855	3985	4648	4925
尾栓(附屬全部) 全重量(斤)	2315	1867	2577	2092
尾栓接合板全重量 (斤)	0338	0312	0340	0413
推進機構全重量 (斤)	0768	^B 0563 ₀ 0445	1568	^{IR} 21480 _{IR} 1490
機銃全重量 (斤)	22010	21000	30900	30000
彈 倉 (100發)	空	17860		18300
	充	37040		39300
裝彈子(100個)		2064		2064
彈藥包(100個裝)		21200		23200





給彈器部品名稱



九九式二十
附部分ニ就
1.
2.
3.
4.
5.

給彈器ハ下
一給彈器ハ別
ハ給彈管、
給彈管蓋等
ニ給彈管ハ方
装置ヲ裝シ
彈管蓋ヲ取
着ス。中央
ノ一透摺)
三給彈管蓋ハ
部ノ透摺ト



第三節 機構並ニ作動

九九式二十種固定機関銃（彈倉式）ト異ナル下

部部分ニ就キ説明ス

1. 給 弾 器
2. 退 却 板
3. 尾 栓
4. 接 合 板
5. 裝 弾 子

第一項 給 弾 器

給弾器ハ下記部分ヨリ成ル（附寫真ノ一参照）

一給弾器ハ別寫ノ如キ部分ヨリ成リ次別セ

ハ給弾篋、給弾篋蓋、給弾口、裝弾装置、

給弾装置等ヨリ成ル

二給弾篋ハ方形ニシテ一方給弾通路トシ裝弾

装置ヲ裝シ他方ハ裝弾子放出口ヲ形成シ給

弾装置ヲ取付ケ上方ハ筒孔シ給弾篋蓋ヲ際

着ス中央下面ニ給弾口ヲ嵌合ス（附寫真

ノ一参照）

三給弾篋蓋ハ下面ニ誘導板ヲ嵌合シ裝弾子爪

部ノ通路トス送帶制子ノ裝付スル孔及送

帶制子支拵ヲ有シ送帶制子止ヲ設ル

前後2條ノ溝ハ給彈機ノ作動孔ニシテ點檢
孔ヲ兼ネ又側方ヲ切開アルハ蓋板ニ必要ノ
爲ナリ 8個ノ螺釘ニテ給彈機ニ固定シ安
全線ヲ蓋ケ螺戻ヲ防止ス

送帶制子ハ給彈位置ニバネト共ニ取付ケ送
導板上ニ密着シ裝彈子爪部ヲ扼シ彈帶ノ
後戻ヲ防止シ藥包ヲ正位置ニ保チ給彈ヲ
良好ナラシム

五裝彈機置ハ送帶板、送帶子、送帶子バネ及
送帶止輪ヨリ成ル

(1) 送帶板ハ矩形形ニシテ内部ニ送帶子、
送帶子バネヲ藏シ給彈機、給彈通路ニ嵌
合シ止バネニ依リ脱落ヲ防止ス

(2) 下面ニ一ラハ退却板ノ溝ニ嵌合シ前進後
退ノ運動ニ依リ左右運動ヲ行フ

(3) 送帶制子ハ送帶板ニバネト共ニ軸ニテ裝
着セラレ送帶板ノ運動ニ依リ裝彈ヲ行フ

六給彈機置ハ起動機、給彈機、給彈軸等ヨ
リ成ル

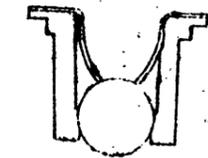
(1) 起動挺ハ ㄣ形ノ金物ニシテ、兩端ハ正方形ノ孔ヲ有シ、軸ニ依リ給彈挺ト共ニ給彈管ニ裝備セラレ、下面ニ一ツハ給彈側退却板ニ嵌合シ、退却板ノ前進、後退運動ニ依リ同轉運動ヲ行フ

(2) 給彈挺ハ前方(彈丸側)後方(藥莢側)ノ2個ヨリ成リ、正方形孔ヲ軸ニ依リ起動挺ト共ニ裝備シ、起動挺ノ同轉ハ給彈挺ヲ同轉セシメ、彈藥包ヲ裝彈子ヨリ拔取シ、更ニ給彈口ニ給彈ス

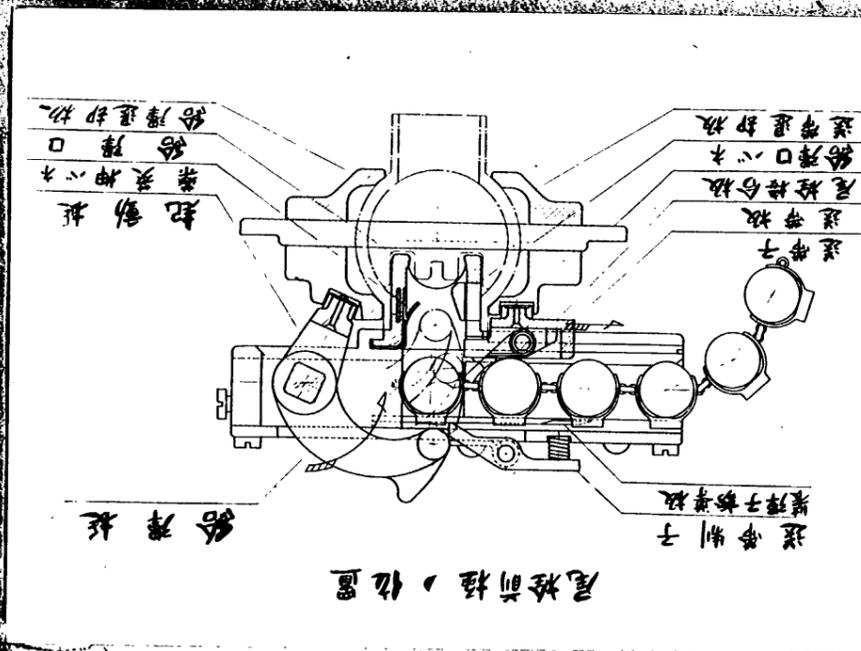
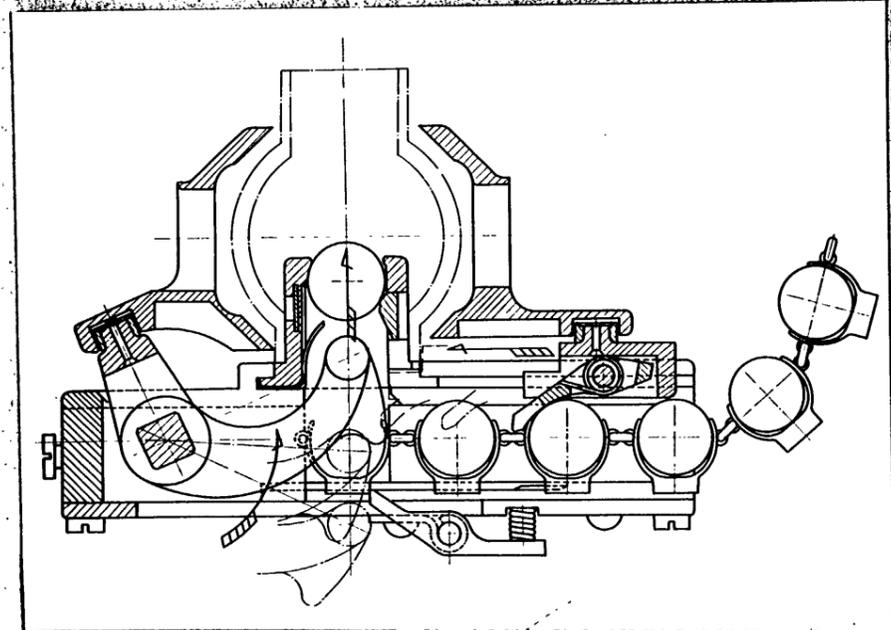
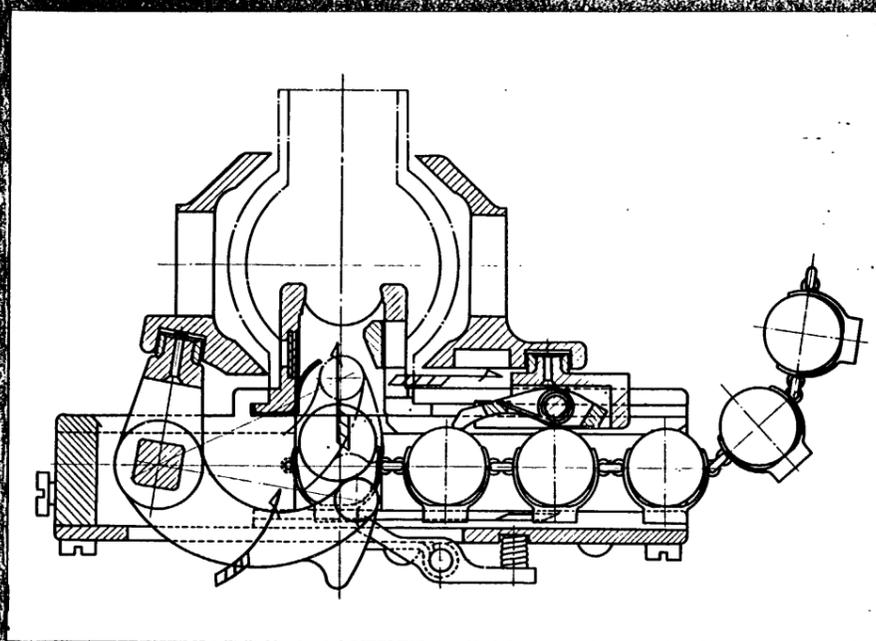
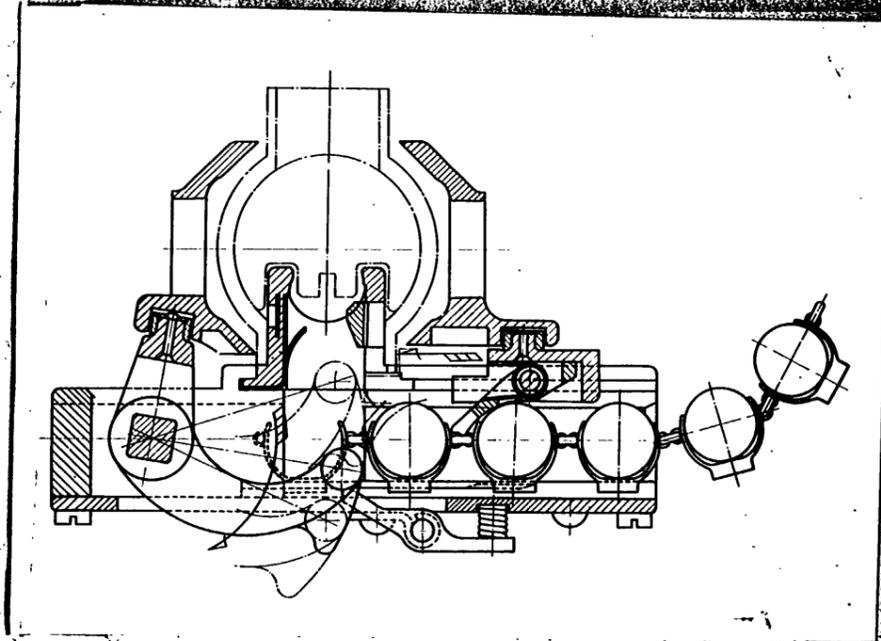
セ給彈口ハ彈倉用給彈口ト同形ニシテ給彈管下面ニ嵌合シ、内部ニ給彈口バネ及藥莢押バネヲ包藏ス

(1) 給彈口バネハ左右2個ヨリ成リ、給彈口兩側ニ嵌合シ、給彈口ヲ正位置ニ保持シ、拔彈抗力ヲ増シ給彈ヲ可良ナラシム

(2) 藥莢押バネハ左右2個ヨリ成リ、給彈口後方兩側ニ裝備シ、給彈時藥莢底ノ飛上リヲ防止シ、尾栓前進時ノ故障ヲ防止ス







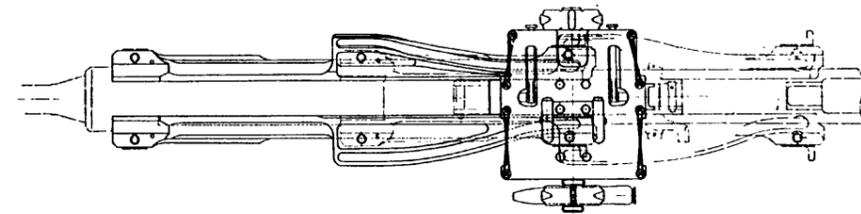
尾槍前極、位置
送帶判子
送帶判子板
送帶子
送帶板
尾槍結合板
鉛筆口心木
送帶運却板
鉛筆口
鉛筆口心木
鉛筆口
鉛筆運却板

附圖其二

裏面白紙

第二項 退却板

退却板ハ裝彈退却板ト給彈退却板ヨリ成リ概
ネ九九式二十粒固定機銃(彈倉式)ト同機ナ
ルモ各形状ヲ異ニシテ彈藥包ノ送帶及彈帶式
ヨリノ給彈ヲナス溝ヲ有ス
附寫其ノ三、



一、裝彈退却板ハ送帶子口一ヲ溝ニ嵌合セシ
メ退却板ノ前進、後退ニ依リ送帶子ヲ作動
セシメ彈帶ヲ給彈口上面迄裝彈ス 裝彈ニ
必要長曲溝ヲ有シ送帶子ノ左右運動以上ハ
水直ナル溝ヲ有ス 其ノ他九九式二十粒(彈
倉式)機銃ト同形ニシテ裝填用ノ突子ヲ有
セズ(附寫其ノ三參照)

二、給彈退却板ハ起動連動一ヲ嵌合シ前後運
動ニ依リ起動連動ヲ同轉セシメル弧狀形溝ヲ

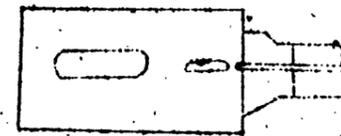
有シ退却板ノ前後運動ニ依リ給弾機ヲ作動
セシメ給弾口上方ニアル弾薬包ヲ給弾口ニ
(即キ込ム)挿入ス(附裏其ノ三參照)

第三項 尾栓及尾栓用遊嵌合板

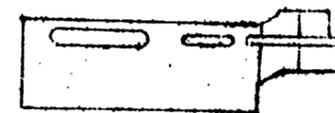
尾栓及尾栓用遊嵌合板ニ發信板ハ九式二十粒(野
倉式)縮銃ト同様ナルモ其遊嵌合板ノ爲削肉シ
尾栓ハ一部遊進セラル

一尾 栓

上面ヲ削リ重量ヲ輕量トナセリ



給弾機世用ノ尾栓及尾栓用



野倉世用ノ尾栓及尾栓用

二尾 後 頭

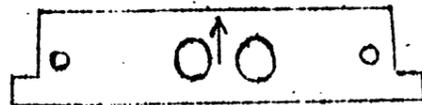
前上面ノ面落シヲ除キ彈藥包ヲ藥室内ニ挿入確實ナラシム



彈倉式ニ比シ彈藥包ノ角戻大ナラシメ挿入確實トナシタルニ依リ尾後頭面ノ面落シヲ除キシモノナリ

三接合板

接合板ハ九九式二十種(彈倉式)機銃ト同一ナルモ兩端ニ接合用突子ヲ有シ又中央ニ2個ノ孔ハ重量軽減ナリ

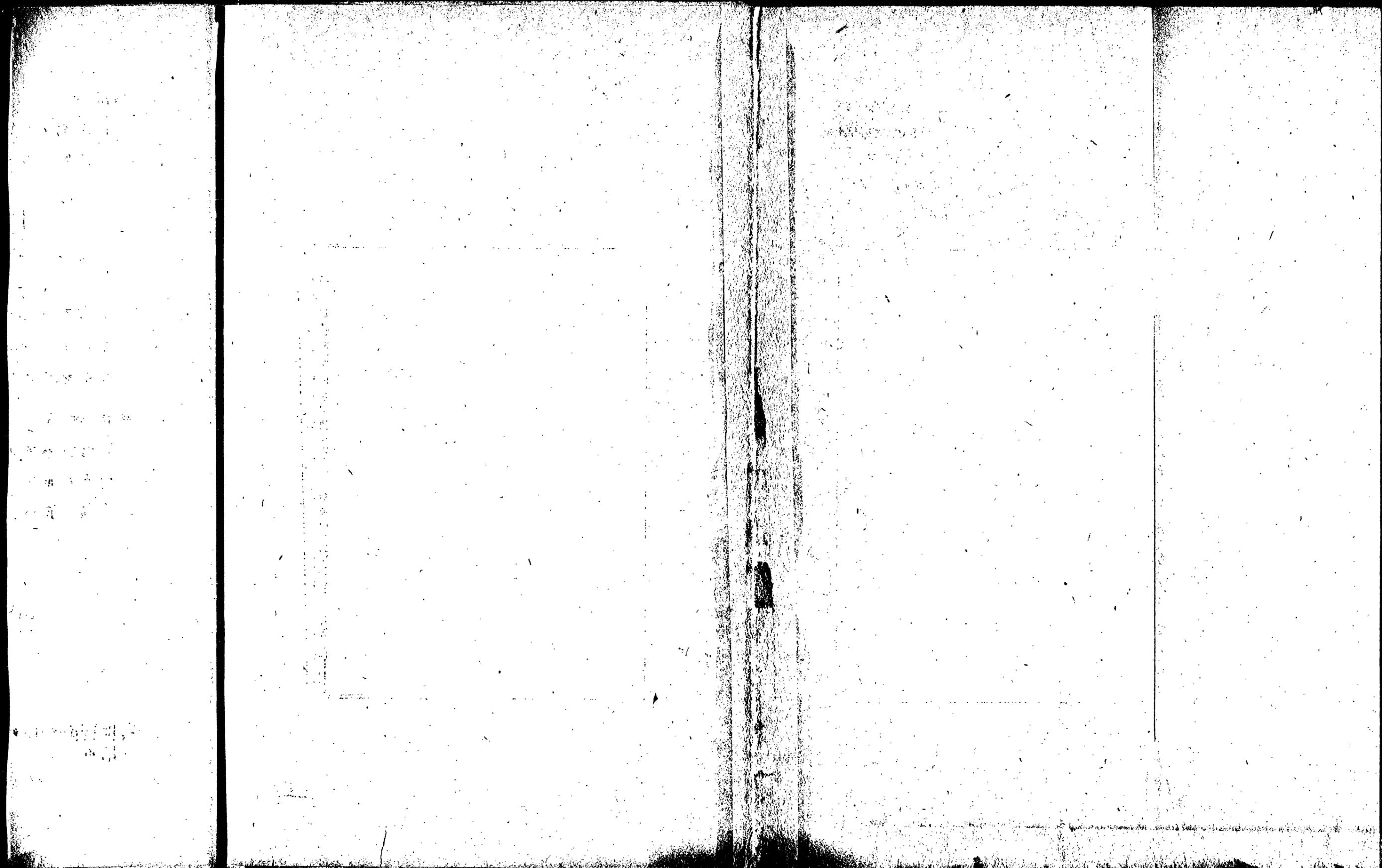


第四復 彈倉バネ及筒

一彈倉式彈倉バネ規格力於ニ比シ力差ヲ若干弱キ

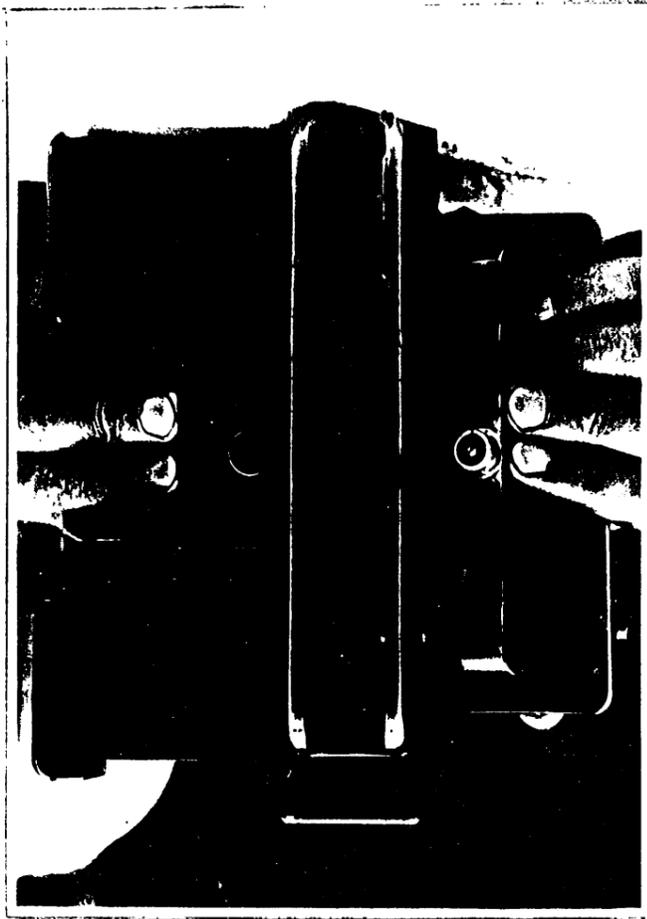
Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, covering the left page of the manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, with some characters appearing to be in a different script or dialect. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese, covering the right page of the manuscript. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines, similar to the left page. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.



附屬品ノ四

給弾器装着時ノ保持法



附屬品ノ五

繰込ノ保持法



推進ばね

項目自由長
名目(年)

彈倉式用2885

給弾器用2925

三推進バネ筒

前項ノ如ク九

動ト同一ナル

ヲ記載ス

一裝着法

本給弾器ハ

中ニ彈ノ

飛行(射撃)

ヲ以テ給弾

ス給弾器

具ス(附屬

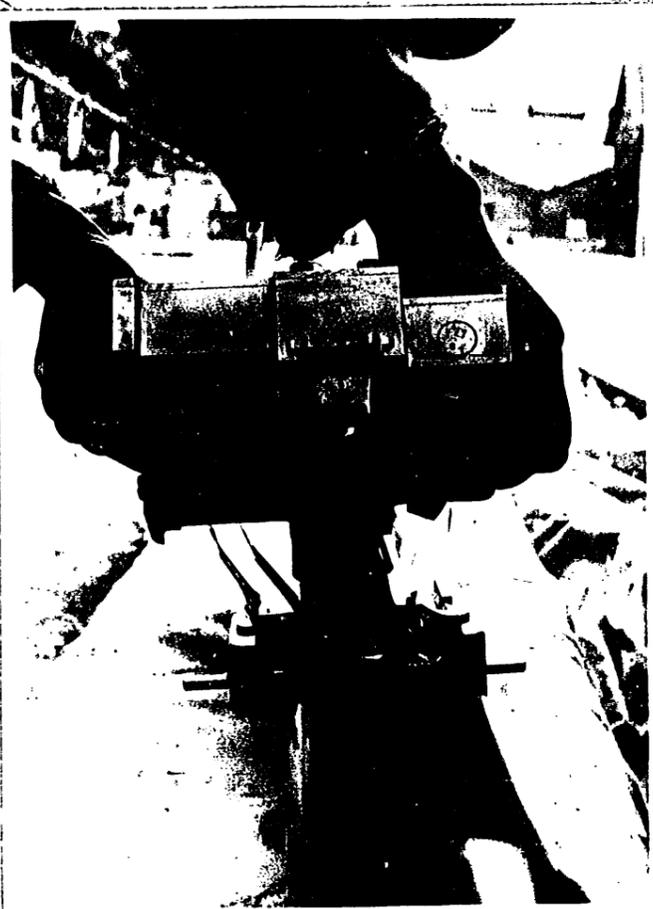
尾栓前部ノ

装回一ツ

ノ如ク裝備

附寫其ノ五

機銃ノ裝着法



推進ばね要目表（ノ本ノ測定値ヲ示ス）

項目	自由長 (mm)	ばね長25/115 力量(kg)	ばね長30/145 力量(kg)	ばね長975 力量(kg)	
彈倉式用	288.5	115	34.5	145	175
給彈器用	295.5	12	34.35	132.5	159.65

ニ推進バネ筒ハ内面ヲ削リ重量ヲ輕減ス

第五項 作 動

前項ノ如ク九九式二十程（彈倉式）機銃ノ作動ト同一ナルヲ以テ本項ニハ給彈器關係ノミヲ記載ス

一 裝 着 法

本給彈器ハ飛行（射撃）前後階中ノ検査（階中ニ彈藥ノ有無）ヲ檢スルコト肝要ニシテ飛行（射撃）前後給彈器ヲ取外シ裝着スルヲ以テ給彈器裝着ニ際シ充分ナル注意ヲ要ス。給彈器裝着時ハ其ノ保持法確實ナルヲ要ス（附寫其ノ四參照）

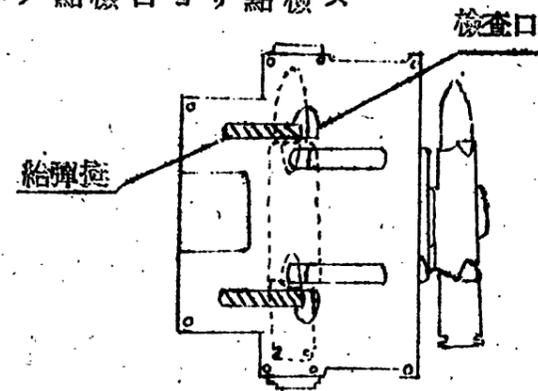
尾栓前蓋ノ位置ニ於テ送帶板回一ツ、起動送一回一ツヲ一杯給彈口側ニ寄セ附寫其ノ五ノ如ク裝備シ各退却板溝ニ嵌合セシム

ニ給弾器ニ彈藥包挿入法

(裝彈子ニ彈藥包裝填法別記参照)

(1)裝填シアル彈帶ヲ彈倉内(製内)ニ格納ス

(2)裝填板(索)ニテ初彈裝彈子眼環又ハ鈎部ニ掛ケ給弾器、給弾通路ヨリ裝彈子放出口ニ裝填板(索)ヲ導キ之ヲ放出口ヨリ強ク引カバ給弾ス 給弾ノ良否ハ給弾器ノ點檢口ヨリ點檢ス



(3)出發前又ハ出發後適宜ノ時機ニ裝填操作ヲ行フ

(一)手動裝填法

裝填用塞止弁ヲ開キ脚ノ把柄ヲ下ゲトシ裝填弁ヲ裝填トシ手動脚筒ヲ充分ニ作動ス

此ノ時裝填標示灯點灯スルモ尙一杯後
退ス 裝填終ラバ裝填弁ヲ復歸トシ唧
筒ヲ作動セシメ充分裝填唧筒ヲ復歸セ
シム

(二) 自動裝填

(發動機回轉中ニ限ル)

裝填用遮止弁ヲ開キ脚ノ把柄ヲ地上ニ
テハ「下ゲ」 空中ニテハ「上ゲ」ト
シ裝填弁ヲ裝填トセバ裝填シ復歸トセ
バ唧筒復歸トナル

此ノ場合裝填及復歸ヲ充分ニ行フコト

第六項 射 撃 (發射)

本項ニ於テ尾栓 (退却板) ヲ後退セシメ裝填
シアル狀況トス

電路接點等ヲ發射トナシ發射把柄ヲ引ク時ハ
尾栓前進ス (貯倉式ト變ラス發射管側裝填ハ
別記取扱參考書ニ依ル) 尾栓前進スル尾栓
頭ハ裝填底ヲ押シ進ミ裝填抑バネハ裝填ヲ上
方ヨリ壓シテ裝填ノ浮上ラントスルヲ防止ス
給油口バネ等裝填包ヲ壓シテ裝填抗カヲ増シ

不良給弾ヲ防止ス 更ニ前進シ彈藥包ハ給弾
口ヨリ離脱直前藥室上面ニ彈帶部ガ下面ニ彈
頭部ガ突ヘラル状態ナルモ尙藥莢後部ハ給弾
口ヲ離サザル爲更ニ力ヲ増シ確實ニ藥莢底ハ
尾後頭ニ嵌合サル 爾後作動ハ九九式二十粒
(彈倉式) 機銃ニ同ジ

給弾器ノ作動ハ(附寫其ノ二参照)

一 裝弾板ハ退却板ノ溝ノ形状ニ依リ内方ニ移
動シ送帶子ニ依リ次弾ハ給弾口上ニ裝弾
サル 送帶制子ノ作動ハ初弾給弾ニ同ジ
ニ 給弾退却板ノ前後ニ依リ起動挺ヲ回轉スル
故給弾挺ハ上方ニ回轉シ裝弾トノ緩衝スル
コトナク上リ次弾給弾ノ準備ヲナス

三 尾後退却セバ裝填操作ニテ説明セル如ク給
弾シ送帶子ハ次弾ノ裝填準備ヲナス 此ノ
時送帶制子ハ彈帶ノ後戻リヲ防止ス 斯ク
シテ發射ヲ遂行ス

第七項 發射ノ停止

發射把柄ヲ放セバ發射停止ス 作動ハ九九式
二十粒(彈倉式)ト同一ナリ

第八項 射撃後ノ點檢

射撃後ノ點檢ハ他銃ト同一ニシテ各銃ノ項ヲ
嚴守スルト共ニ尙下記事項ニ注意スベシ

一 彈倉内ノ殘彈ノ有無ヲ檢ス

二 彈倉留把手(給彈器留把手)ヲ起シ給彈器
ヲ外ス 殘彈アル場合ハ送帶板止バネヲ壓
シ送帶板ヲ外シ送帶筒子ヲ壓シ彈帶ヲ拔出
ス

三 裝填操作ヲ行ヒ尾栓ヲ退却シ腔中ヲ視察シ
有無ヲ指ニテ確ム

四 裝填操作ヲ行ヒツツ尾栓ヲ前進セシム

第四節 整備點檢法

第一項 要 旨

一、給彈裝置ノ構造作動ハ簡單ナルモ各部點檢整備不良ナル時ハ彈倉式ニ比シ故障生起ノ機會多ク特ニ嚴密ナル點檢整備ヲ實施スルヲ要ス

二、裝彈子及彈帶モ從來ノ七耗七裝彈子ニ比シ故障ノ原因トナル箇所多キヲ以テ彈藥包裝備ノ際ハ特ニ嚴密ナル點檢ヲナスヲ要ス

第二項 給彈裝置ノ點檢 ヲ要スベキ箇所

一、給 彈 器

(1) 給彈口關係

(一) 給彈口パネノ切損摩耗及「ヘタリ」パネ嵌合部ニ異物ノ介在ノ有無

(二) 藥莖押パネノ切損摩耗及「ヘタリ」ノ有無

(三) 給彈口ノ彈藥包通路ノ摩耗及變形ノ有無

(2) 給彈關係

(一) 前方、後方給彈挺ノ變形先端ノ摩耗

(1) 給彈挺軸及同止栓ノ變形摩耗

(2) 起動挺ノ戻レ、起動挺ローラノ作動變形
摩耗

(3) 給彈篋ニ裝備時ノ起動挺ノ作動及起動
挺ト給彈挺間ノ「ガタ」

(4) 送帶關係

(1) 送帶子先端形狀摩耗ノ有無ヲ檢ス

(2) 送帶子バネノ力量及「ヘタリ」切損等
ヲ檢ス

(3) 送帶板ローラノ作動及變形摩耗セルヤ
否ヤヲ檢ス

(4) 送帶子先端ノ摩耗、誘導板トノ遊隙ノ有
無

(5) 送帶制子バネノ力量「ヘタリ」及折損
(6) 送帶制子軸ノ固定

(7) 送帶子ト送帶板トノ摩擦(作動ノ良否)

(8) 送帶板ノ給彈篋ニ裝備時ノ作動

(9) 給彈篋蓋止ネ子ノ緊締

(10) 裝彈子誘導板ノ摩耗疵ノ有無

(11) 退却板

(1) 給彈退却板、送帶退却板溝ノ摩耗「マクレ」

(四) 退却板前後止栓

(五) 退却板下機管下ノ摩擦

三、機銃

(1) 推進バネノ折損「ヘタリ」

(2) 退却板緩衝バネノ折損

(3) 推進バネ前後方間座ノ摩耗變形折損

四、機体（飛行機）

(1) 彈倉隔壁ローラノ作動ノ良否

(2) 彈帶通路ローラノ作動ノ良否

(3) 打殼及裝彈子放出口ノ良否

五、裝彈子

(1) 爪部ノ變形折損

(2) 彈帶（彈尾及嵌合狀況）

第三項 給彈裝置整備法

一、前記點檢ヲ要スベキ箇所ノ點檢ノ勵行シ不良箇所アラバ補用品ト交換或ハ手直シヲ實施シ作動良好トナシ整備スルヲ要ス

二、手直シ整備ヲ實施シ差支ヘナキ箇所及整備法

(ハ) 退却板溝ノ「マクレ」疵

油砥石又ハ鐵砂布ニテ磨キ表面ヲ平滑ト
ナス、但シ此ノ際削屑鐵粉ヲヨク拭キ去リ
塗油スベシ

(ロ) 送帶制子

先端摩耗シ誘導板トノ間ニ遊隙アル時ハ
先端ヲ磨キアタリ良好トナラシム

(ハ) 送帶子

送帶板トノ摩擦アリ作動良好ナラザル時
ハ送帶子ノ側面ヲスリ平滑トナス

(ニ) 給彈口バネ嵌合部

給彈口嵌合部狹小又ハ形狀不良ナル時ハ
給彈口バネヲ削リ作動良好トナラシム

(ホ) 起動挺ローラ、送帶板ローラノ作動不良

注油排塵ヲナシ同轉ヲ圓滑ナラシム

(ヘ) 補用品ト交換スベキモノ下記ノ如シ

各バネ、各ローラ、起動挺、起動挺軸、
給彈挺軸止栓

第四項 彈帶點檢

一、裝彈子

爪ノ間隔、爪ノツブレ、爪ノ折曲ゲ部ノ

龜裂、爪部ノ面取り、連結部ノ環ノ變形、
龜裂等ヲ點檢シ不良ノモノハ除去ス

三 彈 帶

- (1) 彈底齊一ナルヤ否ヤヲ檢シ裝彈子ニ裝填
セル際ノ彈藥包ノ浮上リノ有無ヲ檢ス
- (2) 彈藥包ヲ裝彈子ニ裝填スル際藥莖口部駐
刺不良ノモノハ除去スベシ、彈丸ガガタガ
タトナリテ給彈ノ際彈丸脱落スルコトア
リ

第五節 故障及原因

第一項 要 旨

本装置ハ前節ニ述ベタル箇所ノ點檢整備ヲ勵行セザレバ故障ノ原因トナル箇所多キヲ以テ特ニ點檢手入ハ整備ニ要ス。故障生起セバ原因ヲ檢討シ整備又ハ補用品ト交換スルヲ要ス。

第二項 故障及原因

一、不良給彈

(1) 尾栓前極迄前進スルモ其ノ間ニ於テ彈藥包尾栓頭ニ嵌合セバ藥室ニ挿入セラレ生起ス。

(2) 原 因

(一) 給彈口バネノ折損「ヘタリ」又ハ給彈口變形給彈口内ニ於ケル彈藥包維持不良

(二) 雷管後蓋脱落シ尾栓頭ニ嵌合セル場合彈藥包尾栓頭ニ嵌合シ得ズ

(三) 打發放出不良ニ依リ尾栓ノ前進停止又ハ途中ニテ前進ヲ阻害セラレ前進速度ス低一(一時的ニ)ニナル爲ニ彈藥包ノミ藥室内ニ入ル

尾栓頭又ハ殼拔ノ不良

三 不給彈

(1) 送帶子ノ作動不良不充分ナル時及送帶制子ノ作動不良ナル時ニ生起ス

(四) 原因

(一) 送帶子パネノ切損「ヘタリ」ニ依リ送帶子ノ竝起不良トナル

(二) 送帶子ト送帶板トノ間ノ摩擦抵抗ノ爲送帶子ノ竝起不良トナル

(三) 送帶制子パネノ折損「ヘタリ」ノ爲裝彈子爪部ヲ制止シ得ズ彈帶逆戻リス

(四) 送帶制子先端ノ形狀不良ノ爲誘導板トノ間ニ遊隙生ジ爪ハ送帶制子ヲ替ルモ彈帶ハ送帶制子ヲ持チ上ゲ逆戻リス

(五) 送帶制子軸ノ脱落

割ピン拔出シ軸脱落スル時ハ彈帶制子不能トナリ逆戻リス

(六) 送帶板ローラ、送帶退却板溝ノ摩耗及送帶退却板ノ「ガタ」止栓ノ脱落ノ爲送帶量不足シ裝彈子爪ハ送帶制子ヲ替リ切ラズ彈帶逆戻リス

(三) 裝彈子放出不良及潰レニ依リ送帶不能トナル

三、打殼放出不良

(1) 本裝管給彈口ハ彈倉給彈口ニ比シ約ノ程下方ニアル爲藥莖少ク浮キ上リタル時給彈口下面ニ當リ放出不良ヲ起シ或ハ尾栓頭殼拔殼蹴ノ毀損ニ依リテ生起ス

(四) 原因

- (一) 尾栓頭又ハ殼拔不良毀損ノ爲尾栓後退ノ際中途ニ於テ打殼脱落ス
- (二) 殼蹴不良ノ爲打殼蹴出シ不規トナル
- (三) 給彈口下面形狀不良ノ爲(疵 其ノ他)後退ノ途中打殼脱落ス

四、給彈不良

(1) 給彈挺ノ作動不良、運動量不足、給彈口バネノ堅過ギニ依リテ給彈完了位置ニ達セズ彈藥包ハ中途ニ於テ止ル

(四) 原因

- (一) 給彈口バネ嵌口部堅過ギノ爲彈藥包通過ニ際シ給彈挺ノ叩キ込ミ不能トナル

(二) 藥莖押バネノ強過ギ及寸法長過ギノ爲
叩キ込ミ不良トナリ或ハ叩キ込ミ完了
スルモ藥莖ガ藥莖押バネヲ替リ切レズ
浮キ上ル

(三) 給彈挺軸間ノ「ガタ」及給彈挺ノ變形
「ガタ」アル場合ハ給彈挺ノ作動ハ一
杯ナルモ運動長不足シ給彈不完全トナ
ル

(四) 給彈挺退却板及起動挺ロ一ヲノ摩耗ノ
爲ニ給彈挺ノ運動長不足シ給彈不完全
トナル

(五) 給彈退却板ト機殼滑動部ノ摩耗(銹ノ
令數老朽)ノ爲上記(二)ト同結果トナル

(六) 藥莖爪部ノ一方折損ノ爲給彈挺作動ス
ルモ彈藥包裝彈子ヨリ外レツ給彈不良
トナル

五、送帶不足

(1) 不給彈ノ前提ニシテ完全ナル不給彈トナ
ラズ彈藥包裝彈口ノ正位置ニ對向セズ給
彈挺作動シ給彈口送帶側面ニ當リ叩キ込

ミ不能トナリ尾栓中途ロテ止ル

(四)原因

不給彈ノ原因ト同様ナリ(程度輕キモノ)

六不能

(イ)尾栓前進ノ際送帶スルヲ以テ各部摩擦抵抗大ナル場合生起スル故障ノ外ハ彈倉式ト様々同様ナリ

(ロ)原因

(一)推進バネノ折損「ヘタリ」ノ爲ニ尾栓前進勢力過小トナル

(二)雷管後奮脱落シ邪魔ス

(三)尾栓前進ニ際シ下記各部摩擦抵抗過大

(1)送帶板ニ一ニ燒付キ回轉不能

(2)彈藥包ト裝彈子トノ結合不良ニ依ル
彈帶ト給彈器トノ摩擦抵抗

(3)彈倉及彈帶通路各部ノ摩擦抵抗彈藥包ノ不良

七退却不足

(イ)尾栓退却ニ際シ給彈スルヲ以テ給彈ニ際シ抵抗大ナル時ハ退却不足トナル

(四) 原因

- (一) 給弾口パネ嵌合部ノ形状不良ニシテ逃
ゲナキ時ハ彈藥包通過困難トナル
- (二) 裝彈子ノ力量過大
- (三) 推進パネ前後擴大變形シ退却板ニ當ル

ハ給弾口内ニ於ケル彈藥包ノ倒立(尾栓彈藥
包ノ下ヲクグル)

- (1) 尾栓前進ニ際シ給弾口内ニ於テ各部押へ
ナキ時ハ彈藥包倒立シ藥莢部ノ下方ニ尾
栓入り前進不能トナリ中途ユテ止ル

(四) 原因

- (一) 藥莢押パネノ切損「ヘタリ」開口
- (二) 給弾口パネノ切損
- (三) 彈藥包駐刻過弱ニ依ル彈丸藥莢ノ分離
- (四) 給弾口ノ變形

第六節 分解結合法

給弾器ノミヲ説明シ機銃關係ヲ省略ス 給弾器ハ分解セザルヲ立前トスルモ部品交換其ノ他特ニ必要ニ際シテハ次ニ依リ行フモノトス

第一項 分解法

一、送弾板止バネヲ壓シテ外シ送帶子軸ヲ抜き送帶子同バネヲ分離ス

二、安全線ヲ取り除個ノ止ネチヲ螺脱シ給弾蓋ヲ取り送帶制子及同バネヲ分離ス

三、給弾口ヲ後方ニ引出ス（一號機銃用ニアリテハ後面ノ止ネチヲ螺出シタル後）

(1) 藥莢押バネヲ分離ス

(2) 給弾口バネヲ約ノ5耗後方ニ引キ（二號機銃用ニアリテハ尖端ヲ持上ゲテ行フ）前方ノ掛部ノ脱シタル時前方ニ引抜ク

四、給弾挺軸止ピンヲ抜き軸ヲ脱シ起動挺及給弾挺ヲ分離ス

五、各ローラハ後面「カジメ」部ヲ削リ中央鉄ヲ抜ケスローラ及間座ヲ分離シ得

第二項 結合法

結合ハ分解ノ反對ニ行フモ下記注意ヲ要ス

一、給彈装置結合ハ符號ヲ合致スルコト

二、給彈口バネ及藥莖押バネハ左右ヲ誤ラヌコト

三、ローラ結合ノ際ハ間座側ノ「カヂメ」ハ山ヲ底クシテ後ニテ削ラヌ様ニスルコト、尙ローラノ中ニ少量ノ介在物ニテモ軸不圓滑トナル故注意ヲ要ス

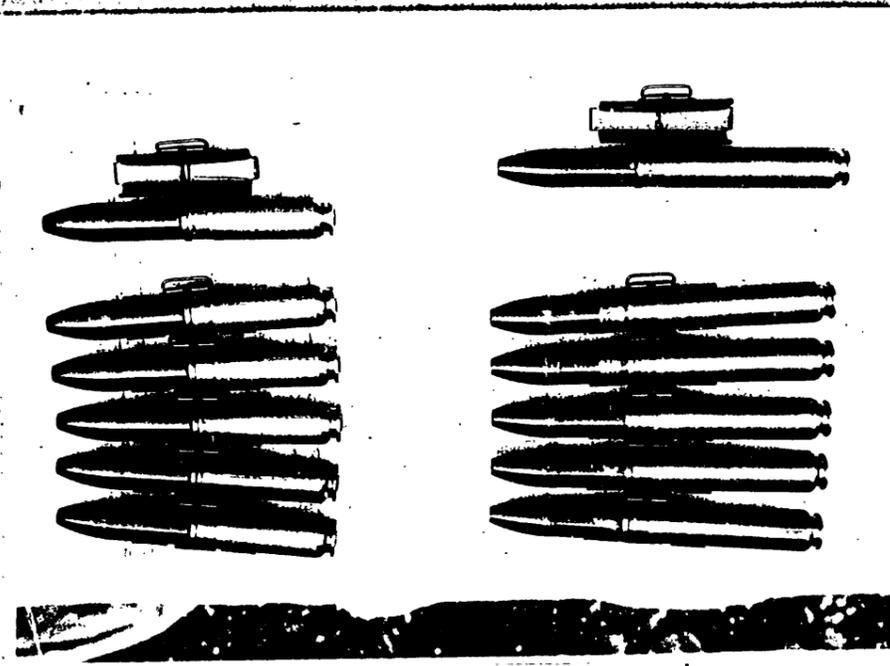
四、機銃ノ接合板ハ矢符ヲ上トシ矢符ノ通り結合ノコト

五、退却板留栓ハ普通ノ反對ニテ下方ヨリ挿入スルコト

附圖其ノ六

一號銃用彈藥包

二號銃用彈藥包



第七節 取扱上ノ注意事項

第一項 彈藥包裝填法

- 一、裝彈子ノ環ヲ手前トシテ連結シ彈頭ヲ右トシ裝填スルコト
- 二、裝彈子中央切缺部ト彈丸銜環部トヲ合スルコト（二號彈ニアリテハ前方抱締部トヲ合ス）（附寫其ノ六參照）
- 三、裝填力量過大ナル時ハ藥莢ト彈丸ニ接ミテ生ジ故障原因トナル故必要以上ノ力ヲ入レザルコト
- 四、裝填後彈帶ノ不揃ヲ直スコト
- 五、裝填不充分ノモノヲ檢スルコト
- 六、裝填子爪部ノ點檢ヲ行フコト
- 七、藥莢部及裝彈子爪部ニ充分塗油スルコト
- 八、彈帶給彈器ニ裝填セバ良否ヲ點檢口ヨリ檢スルコト
- 九、尾栓後退シテ給彈スル場合後極迄引カズシ

テ前進セバ二重給彈トナルニ依ツテ其ノ儘
退却部ヲ後退セシメザルコト

第二項 給彈器關係

- 一、給彈器整備スルニハ送帶板及起動挺ヲ一杯
内方ニ壓シ乍ラ行フコト
- 二、送彈板起動挺同一号ハ時々點檢シ同轉圓滑
ナルコト
- 三、送帶子ト送帶板トノ間ニ物ノ夾リ作不良ノ
コトナキ様注意ス
- 四、起動挺給彈挺ノ變形ノ有無ヲ檢ス（給彈挺
ノ尖端ニテ知レル。）
- 五、給彈口バネ及藥莢押バネ變形及「ヘタリ」
無キヤヲ檢ス
- 六、給彈器電着止ネテ緩ミナキヤヲ確ム
- 七、同口一号及作動部ニ塗油ス

第三項 退却板關係

一、退却板ノ溝ニ「疵」「マクレ」又ハ他物ノ
入り居ラサルヤヲ檢シ油ヲ充分塗ル

二、退却板止栓ノ脱落又ハ緩ミ居ルモノナキヤ

三、機銃總管ト退却板ノ接觸面ニ充分塗油スル
コト

第四項 彈倉關係

一、彈倉給彈通路及口一ヲ又ハ給彈器トノ關係
等ヲ注意スルコト

二、彈倉内ハ良ク清掃シ置クコト

三、彈倉其ノ他ノ止栓ヲ類ハ充分ニ締付緩等ノ
無キコト

附寫其ノ七

該製彈藥包裝填器使用法

一、裝 填 器



附寫其ノ八

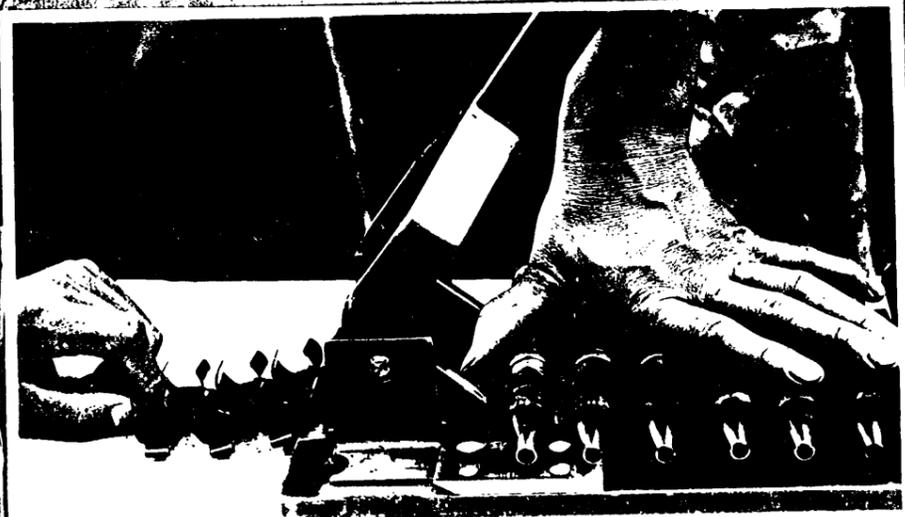
三裝彈子ニ藥包裝填法

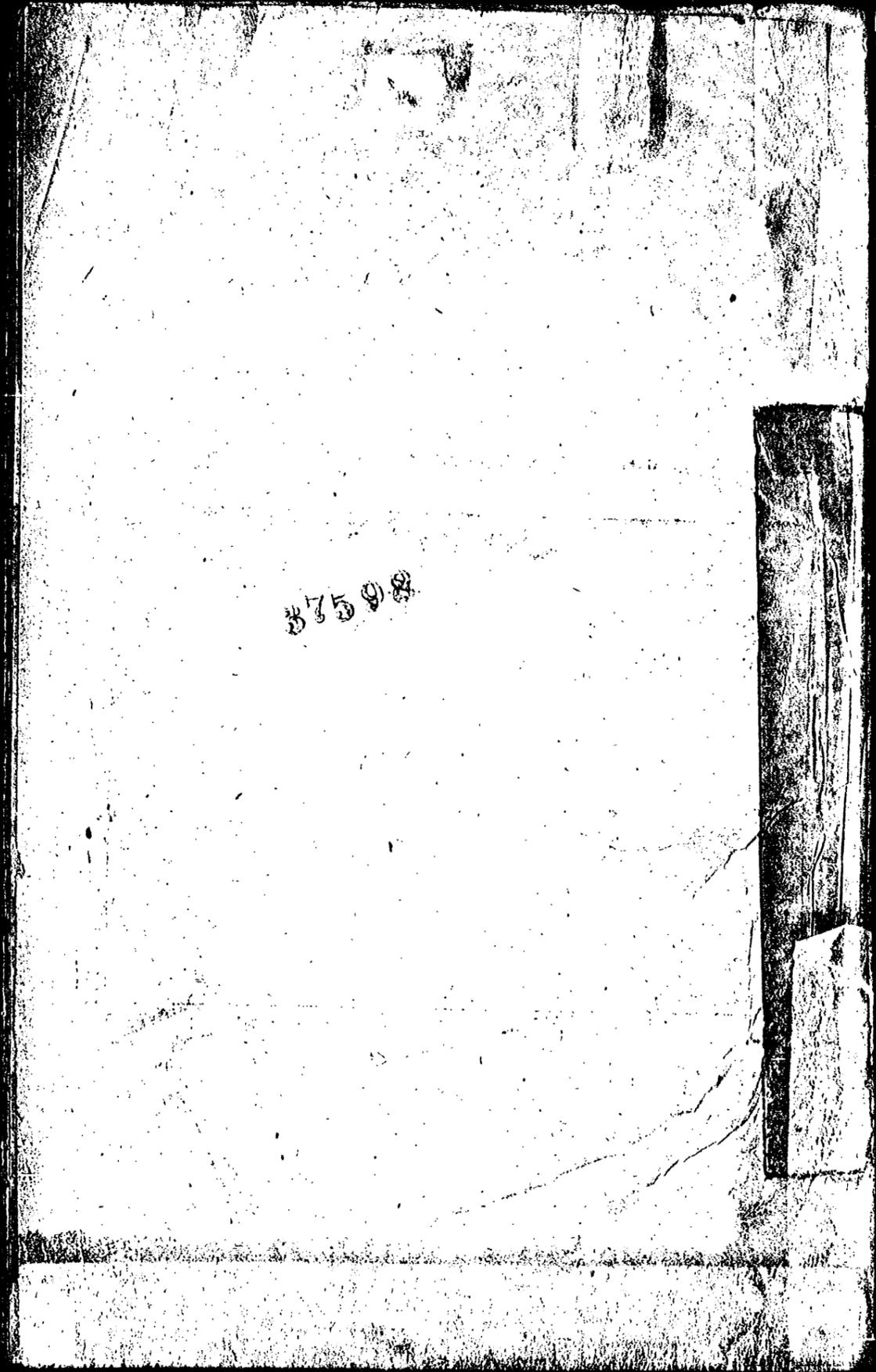


37598

附屬其ノ九

三挺弾子ヨリ彈藥包ヲ抜弾スル状況





37598

